

令和3年8月11日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学

学長 丸 義朗

(公印省略)

## 上部消化管外科学分野 教授候補者の公募について

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

学校法人東京女子医科大学では、外科全体を包括した大講座である外科学講座の中に臓器・疾患の専門性の高い基幹分野を置いた新たな教育・研究・診療の責任体制を確立しております。その1つの基幹分野として上部消化管外科学分野の教授を選考することになりました。なお、教授には本学大学院医学研究科の外科学講座上部消化管外科学基幹分野長および本院消化器病センターの中で上部消化管外科診療部長を担当していただきます。

貴学・貴施設ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご推薦賜わりますようお願い申し上げます。

謹 白

記

### 1. 公募の概要および選考方針

「社会に貢献する女性医人を育成する」という本学の建学の精神に則り、上部消化管外科学に対する造詣が深く、豊富な手術経験を有し、女性医師の育成とともに消化器病センターのマネジメントと発展に能力を発揮でき、同分野に特化した教育、研究、診療を推進できる方を公募いたします。

なお、本学では、男女共同参画を推進しています。上記の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。

つきましては、次の資格要件を満たす方を公募いたします。

- (1) 医師免許および博士(医学)の学位を有すること
- (2) 教育歴(5年以上)、研究歴(10年以上)、診療歴(10年以上)の要件を満たすこと
- (3) 日本外科学会と日本消化器外科学会の指導医、日本内視鏡外科学会技術認定の資格を有する方で、上部消化管外科学に関して深い造詣を備え、卓越した能力を有すること。  
また、食道外科学会専門医の資格を有することが望ましい
- (4) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境の構築に積極的であること
- (5) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、チーム医療と医療安全を実践できる

こと

- (6) 研究業績として、査読付自著論文(\*)15編以上(以下のAまたはBを計4編以上含むこと、ただしAを1編以上含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと

A: 英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B: 英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(\*)自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

## 2. 提出書類等

詳細は「教授候補者の提出資料について(上部消化管外科)」をご参照ください。

様式1～7については、本学ホームページ(HOME > 新着採用情報)からダウンロードしてください。<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- |   |                  |
|---|------------------|
| (1)履歴書(様式1)                             | 1部(補足資料もご提出ください) |
| (2)業績目録(様式2-1,様式2-2)                    | 1部               |
| (3)主要自著論文別刷 10編                         | 各1部              |
| (4)主要自著論文10編の説明(様式3)                    | 1部               |
| (5)研究資金等の取得状況(様式4)                      | 1部               |
| (6)診療実績(様式5-1～様式5-3)                    | 1部               |
| (7)医療安全に係る実務経験(様式6-1)                   | 1部               |
| (8)セーフティマネジャー研修報告書(様式6-2)               | 1部               |
| (9)自己評価書                                | 1部               |
| (10)推薦者一覧                               | 1部               |
| (11)推薦書(様式7)(厳封)                        | 推薦者3名まで          |
| (12)上記(1)～(10)の電子ファイルを保存した媒体(USB等のメディア) | 1式               |

※上記(3)は PDF ファイルで保存してください。

## 3. 提出方法

(1)上記の提出書類を一括して送付してください。

(2)出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。

(3)封書等の表に「親展」「上部消化管外科学分野 教授応募書類」と朱書きしてください。

(4)提出に際しては、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。直接持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

4. 提出期限：令和3年9月30日(木) 必着

5. 提出先：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学  
学長 丸 義朗 宛

6. 選考方法

- (1)一次選考：書類審査
- (2)二次選考：面接審査
- (3)三次選考：公開講演審査
- (4)最終選考：理事会審査

7. 問い合わせ先

東京女子医科大学 学務部医学部学務課  
電話 03-3353-8111(内線)26070・31121

8. 備考

- (1)提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報が漏洩しないよう厳重に管理の上、最終選考が終了しましたら速やかに当方にて責任を持って処分いたします。なお、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれることをご了承願います。
- (2)候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただく場合があります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、追加資料の提出を求めることや、状況確認等で所属施設に伺う場合があります。
- (3)選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人のみに通知するものとし、推薦者の方には通知いたしません。
- (4)本学では、令和元年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

以上

## 教授候補者の提出資料について（上部消化管外科）

以下をご確認のうえ、必要書類をご提出願います。

### 1. 資格要件

- (1) 医師免許および博士(医学)の学位を有すること
- (2) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境の構築に積極的なこと
- (3) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、チーム医療と医療安全を実践できること
- (4) 研究業績として、査読付自著論文(\*)15編以上(以下のAまたはBを計4編以上含むこと、ただしA1編以上は含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと  
A：英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。  
B：英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。  
(\*)自著論文とは、本人がfirst authorまたはequal contributorになっている論文、またはcorresponding authorとして明記されている論文を指す。
- (5) 教育歴(5年以上)、研究歴(10年以上)、診療歴(10年以上)の要件を満たすこと
- (6) 申請時までAまたはBの要件を満たしていること。やむを得ない事情により、申請時までAまたはBの要件を満たしていない場合には、採用後2年以内にAまたはBの要件を満たすこと。

なお、AまたはBの要件を一度満たせば、昇進時に再度求めるものではない。

(注) 1.上記A、Bを以下のように定義する。

A：学内各医療施設の医療安全推進部門において半日もしくは1日単位で計24日以上実務者として勤務する。

B：学内各医療施設のセーフティマネジャーを1年以上務める。

2.採用において、前任地等でAまたはBと同等の経験をしたと認めた場合には、再度経験することを必要としない。

3.本学就任後2年以内にAまたはBの要件を満たす必要がある場合には、申請者は半年ごとに実施状況の進捗を文書で報告すること。

※本学のセーフティマネジャー研修を受けた者はセーフティマネジャー研修報告書を必ず提出すること。

## 2.提出書類等

- |                                |     |   |
|--------------------------------|-----|---|
| (1) 履歴書(様式1)                   | 1部  | ※補足資料も併せてご提出ください。   |
| (2) 業績目録(様式2-1、2-2)            | 1部  |   |
| (3) 主要自著論文10編の別刷               | 各1部 |   |
| (4) 主要自著論文10編の説明(様式3)          | 1部  |   |
| (5) 研究資金等の取得状況(様式4)            | 1部  |   |
| (6) 診療実績(様式5-1、5-2、5-3)        | 1部  | ※補足資料も併せてご提出ください。   |
| (7) 医療安全管理に係る実務経験(様式6-1)       | 1部  |   |
| (8) セーフティマネジャー<br>研修報告書(様式6-2) | 1部  |   |
| (9) 自己評価書                      | 1部  |   |
| (10) 推薦者一覧                     | 1部  |   |
| (11) 推薦書(様式7)                  | 各1部 | 3人まで  |
| (12) 電子ファイル保存媒体(USB)           | 1式  | ※上記(1)～(10)の電子ファイルを保存する。(1)の補足資料および(3)、(6)の手術記録はPDF、その他はExcelまたはWord。 |
| (13) 提出チェックリスト                 |     | チェックしたものを提出   |

### 【記入要領】

#### (1) 履歴書(様式1)(写真貼付)

(様式1)に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、賞罰に分けて記載してください。相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください。

また補足資料として、履歴書に記載した、医師免許および博士(医学)の学位記の写し、日本外科学会指導医認定書、日本消化器外科学会指導医認定書、日本内視鏡外科学会技術認定書の写し、卒前、卒後、大学院教育について、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバスのコピー(過去3年分)とそのPDFを添付してください。

また、食道外科学会専門医の資格を有する場合には、その写しも提出してください。

#### (2) 業績目録(様式2-1、2-2)

(様式2-1)(様式2-2)に従い、Excelファイル内の2つのシートに記載してください。

#### (3) 主要自著論文10編の別刷

主要な自著論文10編について、その別刷を各1部添付するとともに、PDFファイルを媒体に保存の上ご提出ください。

#### (4) 主要自著論文10編の説明書(様式3)

(様式3)に従い、各々の論文の独創的な点について200字以内でご説明ください。

#### (5) 研究資金等の取得状況(様式4)

(様式4)に従い、直近10年間に取得した研究資金を記載してください。

(6) 診療実績 (様式5-1) (様式5-2) (様式5-3)

(様式5-1)(様式5-2)(様式5-3)に従い、外来・入院実績、手術実績を記載してください。  
また、以下の補足資料をご提出ください。

①2018年4月～2021年3月に、ご本人が執刀した代表的な手術症例10件(※1)について、  
その選択理由および手術概要を記載した説明書(※2)、ならびに手術記録の写し(※3)  
(※1)うち最低1件は申請時より1年以内の手術症例を含めてください。手術症例10件  
には、食道についての手術症例、胃についての手術症例を含めてください。(ど  
ちらか一方しかない場合は、片方で結構です)

(※2)各手術A4版1枚程度。書式自由。

(※3)個人情報保護の観点から、患者氏名は必ず消してください。

②上記手術症例10件のうち、申請時より1年以内にご本人が執刀した手術症例の未編集  
の食道についての手術動画、胃についての手術動画を1本ずつ。(コピープロテクトを  
付けずにMP4形式でDVD(複数枚可)またはUSBに保存の上、ご提出ください。Blu-  
ray Discは不可)

なお、食道についての手術動画、胃についての手術動画のどちらかしかない場合は、  
提出できる動画で結構です。

※未編集動画にした手術症例について①の書面一式を別途ご用意の上、ご提出くださ  
い。

③2018年4月～2021年3月に、ご本人が執刀したすべての手術症例の手術記録の写し(個  
人情報保護の観点から、患者氏名は必ず消してください。なお、①の手術症例10件  
と重複する場合もご提出ください。)

(7) 医療安全管理に係る実務経験 (様式6-1)

様式6-1または、医療安全管理に係る実務経験がわかるものをご提出ください。

(8) セーフティマネジャー研修報告書 (様式6-2)

本学でセーフティマネジャー研修を受けた場合には、医療安全推進部門の部門長の署  
名・捺印済みの研修報告書の写しをご提出ください。

(9) 自己評価書

教育、研究、診療、将来への抱負等、下記①～⑦の各々について自己評価を具体的に記  
載してください(A4版、書式自由、各1枚以内)。

①教育：講義、実習、少人数教育(チュートリアル等)の経験、教育に対する考えについ  
て記載してください。

②研究：主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、研究に対する考えについ  
て記載してください。

③診療：実績、専門領域、特殊技能、当該診療科における患者数・手術数の増加のため  
の方策などについて具体的に記載してください。

④医療安全：セーフティマネジャー等の経験や医療安全講習会参加の状況を記載すると  
ともに、安全な医療に関する考えを記載して下さい。

⑤組織マネジメント：主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、診療科

の運営、所属学会の委員会の委員長、社会活動における主導的立場など、種類を問いません。

⑥女性医療者の教育・育成：これまでの実績や、本学の建学の精神や理念を踏まえ、女性医療者の教育・育成についての考えを記載してください。

⑦将来への抱負：ご自由にお書きください。

#### (10) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表を作成してください。(A4版、書式自由)

#### (11) 推薦書(様式7)

最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただってください。推薦者は3名までとし、その依頼先は国内外を問いませんが、提出期限に留意して依頼してください。推薦書は推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送りください。

### 3. 選考方法

- (1)一次選考：書類審査
- (2)二次選考：面接審査
- (3)三次選考：公開講演審査
- (4)最終選考：理事会審査

### 4. 備考

- (1) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
- (2) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後、当方にて責任を持って処分いたします。ただし、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
- (3) 選考過程において、追加資料等の提出を求めることや、状況確認のためにご所属の施設に伺う場合があります。
- (4) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなる場合があります。その際に必要な旅費・滞在費等については応募者の負担といたします。また、日程および実施方法はご本人に連絡いたします。
- (5) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人に通知し、推薦者の方には通知いたしませんことをご承知おきください。

### 5. 提出期限：令和3年9月30日(木) 必着

### 6. 提出書類の送付先

〒162-8666 東京都 新宿区 河田町 8番1号  
東京女子医科大学  
学長 丸 義朗

※提出書類は「書留」等の記録の残る方法で郵送とすること。

※郵便は「親展」とし、「上部消化管外科学分野 教授応募書類在中」と朱書きしてください。

## 7. 問い合わせ先

教授選考委員会事務局

学務課 有賀 淳也・高澤 位枝・後藤 由圭

med\_senkou.bz@twmu.ac.jp

03-3353-8112 内線：31131,31121

以 上